

令和2年度第2回成田市地域包括支援センター等運営協議会会議録概要

1 開催日時

令和3年3月16日（火）資料発送（書面開催）

令和3年3月26日（金）ご意見等締切

2 開催場所

資料郵送による書面開催

3 出席者

（委員）

山下会長、宮前副会長、岩内委員、長島委員、宮下委員、根本委員、阿部委員、石井委員、吉田委員、稲川委員

（事務局）

木下福祉部長

平岡介護保険課長，越川係長，築比地副主幹，加瀬副主査

窺高齢者福祉課長，八代主幹，窪木係長

西部北地域包括支援センター（北村管理者）

南部地域包括支援センター（井上管理者）

西部南地域包括支援センター（林管理者）

東部地域包括支援センター（岩澤管理者）

西部西地域包括支援センター（木下管理者）

生活支援コーディネーター（松田，大麻，坂本）

4 会議次第

（1）地域包括支援センターの運営等に関する事

①令和2年度地域包括支援センターの評価について

②令和3年度地域包括支援センター事業計画について

（2）地域密着型サービスの運営等に関する事

（3）その他

①成田市地域包括支援センター運営実施方針の見直しについて

②地域包括支援センターの呼称案について

③介護予防・生活支援サービス費の見直し

※詳細は別添の資料を参照。

5 委員からの意見等

「書面開催による成田市地域包括支援センター等運営協議会における意見と市の考え方について」参照

書面開催による成田市地域包括支援センター等運営協議会における
意見と市の考え方について

・会議の名称

令和2年度第2回成田市地域包括支援センター等運営協議会

・担当課

介護保険課

書面開催による成田市地域包括支援センター等運営協議会における意見と市の考え方について

| 番号 | 提出された意見の概要 | 意見に対する考え方 | 回答者 | 該当ページ |
|----|--|---|--------------|-------|
| 1 | 本協議会の運営及び次年度計画についての委員への報告は、資料から理解することが難しかった。例えば各支援センターの業務・PR活動・地域の特徴を考慮した独自活動や難渋事例への対応などを5分程度のパワーポイントや動画を作成して（視覚的資料化の活用）プレゼンテーションできると良いかと思う。 | 今後のご意見いただいた、視覚的資料化の活用なども検討するとともに各地域包括支援センターと調整を図りながら、理解しやすい資料作成に努めてまいります。 | 介護保険課 | - |
| 2 | 年2回の会議だけでなく現場で実際業務を見学できる機会（委員による各センターの視察見学など）を持つことができれば、より理解を深めることができると思う。 | ご意見のとおり、現場を見ていただく機会も重要であると考えておりますので、委員のご意見をいただきながら、検討してまいります。 | 介護保険課 | - |
| 3 | 介護離職者ゼロに向けた取り組みとして、労働基準監督署との連携のためのアプローチは具体的に何を行ったか。 | 担当地域内の地域の資源として訪問させて頂きたいと思い、事前に電話にてお約束をさせて頂き訪問致しました。監督課長との面談が叶い遠山地域を担当する地域包括支援センターとしてご挨拶させて頂き、包括支援センターの役割などをお伝えする事が出来ま | 南部地域包括支援センター | P. 16 |

| 番号 | 提出された意見の概要 | 意見に対する考え方 | 回答者 | 該当ページ |
|----|--|--|--------------|-------|
| | | した。監督課長からは「介護労働者の労働条件の確保・改善のポイント」などの資料を頂く事が出来ました。しかし労働基準監督署がコロナ禍で通常とは全く違う状態で雇止めの相談などで、電話も来所も非常に多く多忙を極める状態でした、今回の訪問で介護離職防止の為の様々な制度について知る事が出来たので今後の家族支援などの場面で役立てていこうと思っています。 | | |
| 4 | 新型コロナウイルス感染症の影響による会議や研修会の開催頻度の減少は、自己評価とは別に考え、コロナ禍においては、回数を評価基準に入れないでほしい。 | 新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も続くことが予想されるため、その中でも行えるような会議の開催方法や評価方法等を検討していきたいと考えております。 | 介護保険課 | - |
| 5 | 「ノルディックウォーキングの集い」の開催について、回数や参加人数等を教えてほしい。 | 一般の方の参加人数は、下記のとおりです。 第1回 27名 第2回 21名 第3回 19名 第4回 24名 第5回 22名 | 南部地域包括支援センター | P.16 |

| 番号 | 提出された意見の概要 | 意見に対する考え方 | 回答者 | 該当ページ |
|----|--|--|--------------|-------|
| 6 | 子ども食堂について、自粛の中で、開催に伴い、どのような対応を行ったのか。利用者人数（ボランティアを含む）、回数、場所等について教えてほしい。 | <p>主催者ではないので詳細な事は申し上げられませんが、コロナ禍は中止になる事もありました。お弁当を作って、取りに来る子供もいましたしご自宅に届ける事もされてきました。</p> <p>子ども食堂のいちボランティアとして参加する中で総合相談に繋がったケースも1件あり、母親の疾病の事で残される幼児の件を地域の児童委員さんへの橋渡しをする事もありました。又参加させて頂く事で高齢者だけでなく、子育て世代の皆さんにも包括支援センターを周知する事が出来ると考えていますので今後も出来る限り参加させて頂きたいと考えております 会場は本三里塚第2共同利用施設です。</p> | 南部地域包括支援センター | P. 16 |
| 7 | 夜間・土日の体制について評価にあがっているが、件数はどの程度なのか。また、他の地域では行われていないのか。 | すべての地域包括支援センターで夜間・土日でも対応可能な体制をとっておりますが、南部圏域及び他の圏域においても件数は少ないのが現状です。 | 介護保険課 | P. 12 |

| 番号 | 提出された意見の概要 | 意見に対する考え方 | 回答者 | 該当ページ |
|----|---|--|-------------------|-------|
| 8 | 住宅の問題やゴミ屋敷等が取り上げられていたが、件数として増加傾向にあるのか。 | 必ずしも増加傾向にあるというわけではありませんが、家賃滞納による退去等、個別ケア会議の議題に挙がることは多くなっております。 | 西部北地域 包括支援センター | P. 42 |
| 9 | 認知症カフェ等について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく開催が見送られたが、令和3年度には開催されるのか。 | 開催については、各会でご判断していただくこととなりますが、市としても必要な助言や情報提供等を行ってまいります。 | 介護保険課 | - |
| 10 | すべての包括にいえることだが、一人当たりの担当件数が1500人前後であり、土日祝・夜間の相談受付等、職員の負担が心配である。 | 「成田市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例」に基づき職員を配置しておりますが、国から提示されている地域包括支援センターの評価指数より、職員一人当たりの状況が1500人以下が望ましい値であると示されていることから、引き続き職員配置について検討するとともに、必要な支援等を行ってまいります。 | 介護保険課 | - |
| 11 | 一人当たり高齢者数が1500人を若干上回るとの表記があるが、数値は明記して自己評価した方がいいのではないか。 | 今後、センター間で表記の仕方が統一されるよう、調整いたします。 | 介護保険課 | P. 19 |